

事業所自己評価

事業所名：LITALICOジュニア 新所沢 教室

サービス：児童発達支援

評価実施日：2024年11月8日（金）

担当者：大矢、楠瀬、吉光、小原、久保山、白石

事業所内分析

事業所と保護者さまとの共通点

寄り添ってくれている/話を聞いてくれる/集団と個別が一度に受けられる/部屋、やっぱり狭いよね
人によって合う合わないがある/寄り添ってくれる/専門性が高い//保護者様同士のつながりの座談会実施については、実施できていないので、その通りだと思う/集団を過ごすうえで、部屋が狭い/
子どもや親に寄り添ってくれている/子どもが楽しそう/親にとってもわかりやすい評価項目（IEP）/部屋が狭い
話を聞いたりと親身になれること（FBや相談支援等の手厚さ）、部屋の面積

事業所と保護者さまとの相違点

個別を経験されている方の満足度が低い/年齢に合わせてフォローしているけど、保護者の見立てと支援員の見立てが違うとなかなか刺さりづらい・・・/支援計画の内容、伝わっていない方が多くいるんだな・・・その上で支援計画に沿った内容で支援が勧められているに関しては「はい」の人が多いためみなさんに感謝です・・・
毎年思うところだけど、NPSを使う意味。〈どれくらいすすめたいですか？〉の質問の事業所側の必要性和、受け取り側の回答の相違が気になる。／

分析・検討結果

事業所の強み

時間がないなかで工夫して保護者と話す時間を指導員のみんなが取っている
親身に専門的で楽しく、明るい
親御様と指導員のコミュニケーションが取れている
保護者への心理的なサポート、専門的な視点をもちつつの距離感、お子さまを長期的に見ているが故の成長点からの比較
時間が限られている中、相談や申し送り等の親身な対応

事業所の改善点

子供一人一人に向き合う、合う授業
支援計画の内容が伝わってる人と伝わってない人に差が出ている事
限られたスペースの中で、子ども一人ひとりに合った指導方法、環境設定

改善への取り組み

- ・指導員の振り返りの時間の確保、フレームに当てはめた振り返りと実践
- ・日々のコミュニケーションにおける、支援計画のやりとりの時間を増やす